

平成30年 1月25日  
国立大学法人 千葉大学千葉大学一般向け公開講演会  
「様々な手法で関東の、世界の降水を測る」を開催

千葉大学環境リモートセンシング研究センターでは、近年話題に上がることが多い、局地的な極端降水の事例の研究をはじめ、最先端の研究を広く知っていただくために、一般向け講演会を企画しました。

## 記

日 時	平成30年3月3日（土）13：30～17：00（開場13:00）
場 所	千葉大学西千葉キャンパス けやき会館大ホール
参加費	無料
申込方法	不要（直接お越しください）
内 容	第一部を「関東の降水を捉える」、第二部を「世界の降水を捉える」とし、我々の身近なスケールから地球規模の降水観測に至るまで、現在の状況、および今後の展開について分かりやすく話題提供を行う予定です。

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ連絡先  
千葉大学環境リモートセンシング研究センター  
E-mail: [lecture2018@cr.chiba-u.ac.jp](mailto:lecture2018@cr.chiba-u.ac.jp)  
TEL: 043(290)3853

千葉大学環境リモートセンシング研究センター主催  
一般向け公開講演会

# 様々な手法で関東の、世界の降水を測る

日時:平成30年3月3日(土) 13:30-17:00(開場13:00)

場所:千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館大ホール

(入場無料、事前申し込み不要)

13:30-13:40 開会挨拶

樋口篤志(千葉大学)

環境リモートセンシング研究センター 准教授)

## 関東の降水を捉える

13:40-14:10 「積乱雲の卵をとらえる」

小林文明(防衛大学校 教授)

14:10-14:30 「積乱雲内の降水・風・雷の三次元観測と  
短時間予測の現状

～危険な積乱雲をリアルタイムで診断～」

清水慎吾(防災科学技術研究所 主任研究員)

14:30-14:45 休憩

## 世界の降水を捉える

14:45-15:15 「世界をリードする日本の降水レーダ  
(地上設置, 衛星搭載レーダ)」

高橋暢宏(名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授)

15:15-15:35 「TRMMからGPMへ」

豊嶋紘一(千葉大学)

環境リモートセンシング研究センター 特任研究員)

15:35-15:55 「TRMM GPMの成果を広域に広げる  
ひまわり8号による降雨推定」

広瀬民志(千葉大学)

環境リモートセンシング研究センター 特任助教)

15:55-16:05 休憩

16:05-16:45 総合討論 (司会:樋口篤志)

16:50-17:00 閉会挨拶

第1部

第2部

主催:千葉大学環境リモートセンシング研究センター

共催:4大学連携バーチャルラボラトリー(VL)

環境省推進費「極端降水評価と気象解析のためのAPHRODITEアルゴリズムの改良」

ホームページ: <http://www.cr.chiba-u.jp/databases/VL/VL-Lecture2018/VL-Lecture20180303.html>

E-mail: [lecture2018@cr.chiba-u.ac.jp](mailto:lecture2018@cr.chiba-u.ac.jp)